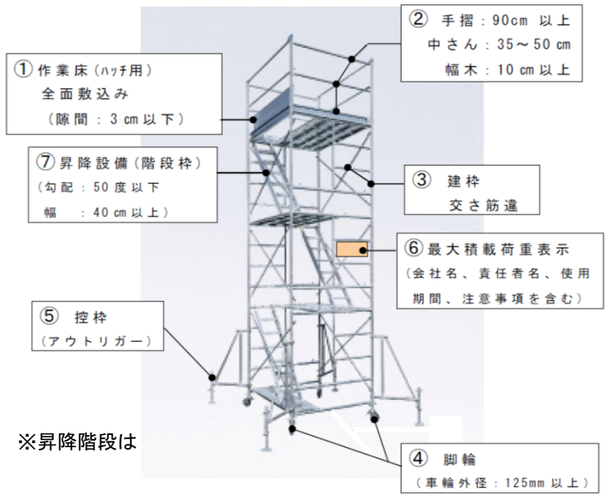
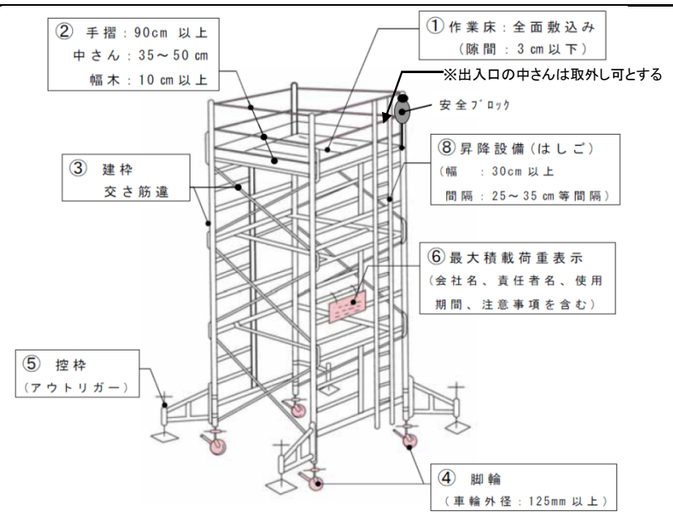
制定:2011.02.02

ローリングタワー（移動式足場）の使用基準



※昇降階段は



協力会社名		点検者名		点検日	平成　年　月　日

使用前点検表　　合否判定：合○、否×

点検項目	点検内容　※移動式足場の安全基準に関する技術上の指針（技術上の指針公示第6号　昭50.10.18）による	合・否
【基本事項】	1．使用する各部材及び金物（緊結用等）関係は、仮設工業会認定品とする。	
	2．曲がり・亀裂・ねじれ・へこみなどの破損、油等の付着による汚れはないか。	
【①作業床】	1．すき間なく敷きつめてあるか。（3cm以内）　・油汚れ、曲がり、へこみ等の破損はないか	
【②手摺・中さん・幅木】	1．手摺H=90cm以上、中さんH=35～50cm（出入口部分は取外し可とする） 幅木H=10cm以上で、各々確実に固定されているか。	
【④脚輪】	1．車輪外径は125mm以上で、著しい磨耗・欠損等の破損はないか。	
【⑤控枠】	1．アウトリガーは正常に作動するか。	
【⑦昇降設備】	1．階段枠は 幅：40cm以上、設置勾配：50度以、　はしごの踏桟は W=30cm以上、25～35cmの等間隔	
【⑥最大積載荷重標示】	1．積載荷重は床面積による。（積載荷重：作業員を含む）　会社名、責任者名、使用期間、注意事項を含む 床面積≧2㎡のとき　250kg以下　　床面積＜2㎡のとき　50＋100×（床面積㎡）　kg以下	

【使用条件】

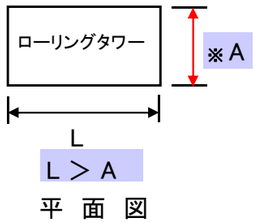
1）ローリングタワー**専用枠**を使用する。（枠組足場の使用は**W=1200**とし、高さは**2段を限度**とする）
2）高さ（手摺天端まで）5m以上の組立、解体は**足場の組立解体作業主任者の直接指揮**のもと実施する。（**資格者名を掲示**）
3）高さ5m以下の組立、解体は足場に関する知識と経験を有するものが実施する。
4）**昇降設備は階段枠**とする。（階段枠の取付が不可能の場合は、はしご等を取付け確実な転倒防止を行う）
5）脚輪（車輪）の**外径は125mm以上**を使用する。
6）**最大積載荷重**（作業員を含む）の標示をする。（使用会社、使用責任者、取扱い注意事項も含む）

【使用上の注意事項】

1）脚輪のブレーキは、移動中を除き、常時**4箇所とも作動させる。**また、控枠を設けてある場合はアウトリガーを十分に緊張する。
2）控枠の設置時の角度は枠面に対し **135°**（延長線に対し **45°**）のセットを目安とする。
3）移動して使用する場合は、移動路面（定置面）は凹凸がなく**水平で、障害物**（空中を含む）**のない**場所とする。（堅い場所とする）
4）作業員を**乗せたまま移動しない**。また、作業床上の材料・工具等は降ろしてから移動する。
5）移動は、**前方を確認**しながら、ゆっくりと移動する。また**作業関係者以外の者を立ち入らせない**。
6）移動させる時に、転倒の恐れがある場合は、**転倒のない高さに組み替える**。
7）昇降は、**昇降用階段**を使用する。（はしごの昇降は、安全ブロック等を使用し、手にものを持たないで**一人**ずつ行う）
8）最大積載荷重を**超えた荷重**（作業員＋材料・工具等）をかけて**使用しない**。また、材料等は偏芯しないよう中央部分にのせる。
9）作業床上では**踏台・脚立・可搬式作業台・移動はしご等を使用しない**。
10）移動式足場は**無理のない姿勢で作業**を行うため、作業個所に近いところに定置する。（**手摺から身をのり出さない**）
11）移動式足場上では、**安全帯を使用**する。（作業の反動で墜落の危険のある**設備配管等の工事**では、**フルハーネス型を使用する**。）

【高さと脚輪及び控枠との関係】　（専用建枠使用の場合）

1．控枠がない場合



L＞A

平面図

H≦7.7　A　－5（m）

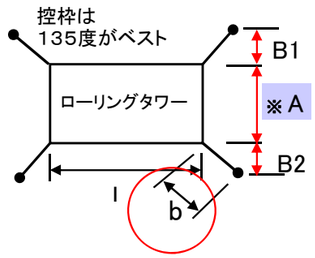
（Aは枠巾の寸法）

高さの計算式（m）：H≦7.7A－5		
※Aの寸法（m）	算出計算式	H（制限高さ）
0.9 m	H≦7.7×0.9－5	1.93 m
1.2 m	H≦7.7×1.2－5	4.24 m
1.5 m	H≦7.7×1.5－5	6.55 m

2．控枠を有する場合

（控枠の巾（b）と枠の高さ（a）との関係による）

※控枠の巾（b）と高さ（a）の寸法は確認する。（カタログ・メーカー等）



2－1．控枠の高さ（a）が控枠の巾（b）の3倍以上の場合
（a≧3b の場合）

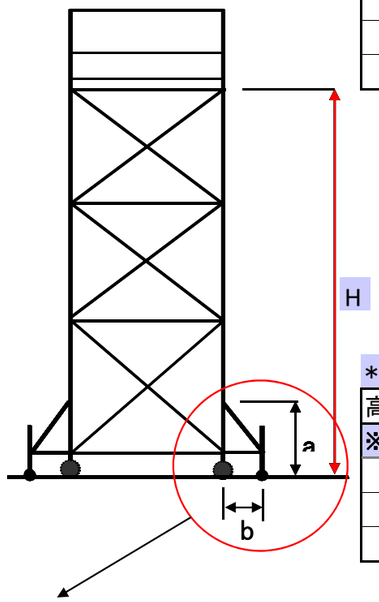
H≦7.7（A＋B1＋B2）－5（m）

（Aは枠巾の寸法）

（B1・B2は控枠の張り出し巾の寸法）

＊ 計算例：B1・B2とも 0.5mの場合

高さの計算式（m）：H≦7.7A－5		
※Aの寸法（m）	算出計算式	H（制限高さ）
0.9 m	H≦7.7×(0.9+0.5+0.5)－5	9.63 m
1.2 m	H≦7.7×(1.2+0.5+0.5)－5	11.94 m
1.5 m	H≦7.7×(1.5+0.5+0.5)－5	14.25 m



2－2．控枠の高さ（a）が控枠の巾（b）の3倍以下の場合
（a≦3b の場合）

H≦7.7｛A＋1／2（B1＋B2）｝－5（m）

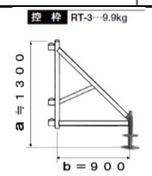
（Aは枠巾の寸法）

（B1・B2は控枠の張り出し巾の寸法）

＊ 計算例：B1・B2とも 0.5mの場合

高さの計算式（m）：H≦7.7A－5		
※Aの寸法（m）	算出計算式	H（制限高さ）
0.9 m	H≦7.7×{0.9+1／2(0.5+0.5)}－5	5.78 m
1.2 m	H≦7.7×{1.2+1／2(0.5+0.5)}－5	8.09 m
1.5 m	H≦7.7×{1.5+1／2(0.5+0.5)}－5	10.40 m

※ メーカーによっては、a≦3bでない場合があるため使用する際は確認する。



※某メーカーの控枠
（a＜3bの場合）
a：≒1300
3b：2700